

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣工業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月4日(火) 13:30~15:10
- 3 開催場所 協議会会場 大垣工業高等学校 本館1階 会議室
 授業参観 南舎1階 自動制御実習室、計測実習室、電子機器実習室
 豊栄館2階 会議室
- 4 参加者 会長 小塚 生開 共立紡機株式会社 代表取締役
 副会長 篠田 和也 育友会会長
 委員 松原 学士 イビデン株式会社執行役員 経営企画本部人事部
 人事企画グループ 採用担当マネージャー
 竹中 拓也 太平洋工業株式会社
 コーポレート企画センター人事部 主査
 長瀬 ちえ子 大垣夢ある女性の会 事務部長
 片桐 実智 地域代表
 松崎 美枝子 育友会3年学年代表
 吉田 秀慈 大垣市立西中学校 校長
 中野 たみ子 NPOひまわりの花 理事長 (欠席)
- 学校側 桐山 明宏 校長
 藤原 竹志 副校長
 樋口 高広 教頭
 安部 博貴 教頭

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 令和6年度学校運営協議会 会長、副会長の互選について
 (2) 令和6年度教育指導の重点及び学校経営計画について(全日制・定時制)
 (3) 令和6年度学校運営機構について(全日制・定時制)

第4次岐阜県教育振興基本計画について説明。

地域産業の担い手育成総合戦略事業の指定について説明。

本校の教育指導の重点及び学校経営計画と、岐阜県教育振興基本計画や指定事業との関連について説明。

⇒(2)(3)について、全委員より承認を得る。

今後の学校運営に関わる重要なポイントについての意見を得た。

意見1:自主性とコミュニケーション能力の育成が重要である。コミュニケーション能力と自主性を育てる事が重要である。自発的な問題解決能力にもつながる。

- 意見 2 : 学校の目標設定について教員ひとりひとりが学校の方針設定の議論に加わっているか。また、それぞれが方針を理解できているか。
=> 若手教員までのすべてが議論には加わっていないが、年度当初にすべての教員が校長と面談する中で、それぞれの立場でどのような目標を持つかを確認し、学校として担ってほしい事を伝えて活躍すべき点を確認している。またそれぞれの達成度の把握や助言につなげ、改善につなげている。
- 意見 3 : 評価・達成度を確認する際にアンケートで得られた数値をどう活用するか。
=> 授業については、前期と後期でアンケートを実施するが、学校経営に関しては夏に実施している。同じアンケート内容を同じ時期に実施することで、経年変化を見て経営の改善に取り入れている。
- 意見 4 : 一般的に現状維持で働いている社会人が多い。先の事を考えて行動できるのが望ましく、長期的な展望や将来の自分のあり方についての視点を育ててほしい。
=> 人生設計についての授業は主に高校1年での家庭科で行っている。成長過程の中でそれらを伝えているのは、各専門学科が主導で実施しているキャリア教育の中で対応している。
- 意見 5 : 昔楽しんだ「人生ゲーム」の中で出てくる内容が、年をとるにつれ、現実のものにつながっていることを実感している。職場の中でも業界のゲームを行い意識向上に役立っている。これをふまえ工業高校生版の人生ゲームのようなものを作ることができれば、教育に役立つのではないか。
=> 完成できるかどうかはわからないが、若手教員を中心に検討していく。
- 意見 6 : 本校の取組が SDG s につながっているものであることを周囲に認識してもらえるように、SDG s のシンボルを学校の取組や目標が書かれた資料・パンフレットなどに掲載していくとよい。これにより、生徒にとってもどのような視点で学びを進めているかや、その後の就職に関わる関係性なども意識できるようになる。学校全体としての資料の他、各学科の目指している内容を示す資料などでも有効である。
=> 資料の修正を行い、シンボルを挿入していく。
- 意見 7 : 高校生活の中で、持続力を見につけさせたい。人生設計を立て、目標に向かって努力できるようにすることで持続力の向上につながる。
- 意見 8 : 企業では、物事の成果は能力だけで評価されることはなく、能力と人間力を掛け合わせたもので評価される。人間力が低いと、トラブルにつながるケースが多い。正しい倫理観、道徳観を養う教育が求められている。決められたルールを守ることなどが基礎的な部分であり、人間力の土台になっている。先生には心を鬼にしながら、「ダメなものはダメ」と教えてほしい。
- 意見 9 : 離職せずに継続して勤務できることは大切であるが、離職する卒業生がいるのも現実である。次の職場を探す際に相談できる学校であるとよいのではないか。中途採用についてなどの情報を企業から得られるとよい。
- 意見 10 : 進学した場合になかなか就職できないような大企業からの求人もあり、進学を希望していても迷いが生じる。企業情報など、なるべく早い段階から多くの情報提供がされると、考える時間を長くとることができる。希望進路先が固まりつつある状況の中ではなく、もう少し早い時期に設定できるとよい。
- 意見 11 : 企業側として、休みの日数や給与面だけでなく、仕事の内容や働き甲斐など、キャリア教育に関して説明する機会が得られれば協力は惜しまない。勉強ができる生徒と部活動をがんばってきた生徒は同じくらい価値のあるものと考えられる面があり、授業の中で企業の中で求められる人材について触れて欲しいし、要望があれば企業側として講演など協力は惜しまない。
- 意見 12 : 対人関係で離職する話があり、年上の上司とのコミュニケーションが十分できない

ことが推測される。会話力を身に付けさせてほしい。

意見 13 : 離職しているかの調査はしているか。

- => 抽出して調査を行っているが、個人情報にあたる部分があるため、全面的に調査・把握するのは不可能である。離職についての把握は課題ととらえている。
- => 生徒をたくましく育てるのは、人としてできあがる前の教育が要である。授業の様子を見ると学年が上がるほど態度がよく、成長しているのはよくわかる。
- => 部活動で努力している生徒は授業態度も連動してよくなっている。部活動に参加することは推奨しているが、国や県の方針では全員加入を勧めていない。授業の中でたくましさを育てるのは難しく、たくましさを育てる事ができる部活動の参加のあり方について、見直す時期にきているのかもしれない。

(4) スクール・ミッションについて (全日制・定時制)

スクール・ミッション策定のスケジュールについて説明。

スクール・ミッションの「キーワード」に関する説明。

=> 第2回学校運営協議会において、スクール・ミッションに関する意見交換を行うことを確認。

(5) 第2回、第3回の学校運営協議会の日取りなどについて

6 会議のまとめ

- ・全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認を得た。
- ・全委員より学校の取組について肯定的な意見を得た。
- ・令和6年度学校運営機構について承認を得た。
- ・本日得られた意見を学校運営に活かす。
- ・第2回学校運営協議会でスクール・ミッションについて継続審議を行う。
- ・荒天で延期となった定時制の授業参観について、定時制の生活体験発表会の日に再設定したの
で参観申込の資料を確認した。